

議員と語りかい 報告書

開催日	平成 24年 11月 1日 18:30～		
開催場所	霧島市議会 第3、4委員会室		
団体名	霧島市社会保障推進協議会	参加人数	25人
出席議員 (1班)	秋廣 眞司、松元 深、下深迫 孝二、脇元 操 田代 昇子、志摩 浩志、岡元 一二三		
役割分担	班長(秋・眞司)	記録係(松元 深)	
テーマ及び具体的な内容	<p>(テーマ)</p> <p>① 国保税の負担軽減について</p> <p>② 子ども医療費の無料化、現物給付について</p> <p>③ 肺炎球菌ワクチン(大人用)への助成について</p> <p>(具体的な内容)</p> <p>国保税の引下げ継続を求めています。誰もが払える国保税に向けて、国保の現状や今後の課題等について意見交換させていただきたい。また、子ども医療費、ワクチン助成についても、今後の見通しについて意見交換を。</p>		
意見交換会での 主な意見等	<p>(凡例 ◆: 市民の方々からの意見 ⇒: 議員の回答)</p> <p>1、国保税負担軽減について</p> <p>◆サラリーマンは、定年までは組合や社会保険等に参加されており、現役の時は病院にかかる割合は低い。定年後は国民健康に加入され、病院にかかる割合が高くなり医療費がかかる。社会保険料を子どもが払って、国保で親が使っているなど、制度的に矛盾している。</p> <p>⇒社会保険と国民健康保険などが一体化されることは望ましいが、現状では厳しい。</p> <p>◆一般会計からの繰り入れをして、国保税の軽減をすべきである。</p> <p>平成22年度から24年度までの軽減策を、平成25年度以降も行って欲しい。</p> <p>国保の加入者の多くが低所得者である。特に年金受給者、若年層の負担は大変厳しいので引下げをして欲しい。</p> <p>2、子ども医療費の無料化、現物給付について</p> <p>◆住みやすい霧島市を実現するために、中学生まで医療費無料化を求める。多くの自治体も中学生までの無料化を行っている、霧島市もできるのではないかな。</p> <p>◆就学前の医療費は無料ではあるが、償還払い方式では手続きが面倒である。また、鹿児島県の自治体では行われていない。現物支給(窓口での医療費の支払い免除)を制度化して欲しい。</p> <p>3、肺炎球菌ワクチン(大人用)への助成について</p> <p>◆65歳以上の肺炎球菌ワクチンの公費助成をお願いしたい。</p> <p>⇒一般質問でも議論があった。経費などの問題もあり前向きに検討するとなっている。</p> <p>◆初年度は多額の費用も発生するが、2年目からは経費も少なく済むと考えられる。また、結果的に肺炎になる割合が大幅に少なくなるため、経費削減に繋がる。急いでやるべきことは、真剣に取り組んでいただきたい。</p>		